

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 2 - 11

1 事務事業の表示

該当

事務事業名		地域政策研究支援事業					
評価者	担当課名	財務企画課		担当係名	企画調整係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	原 正美		氏名	澤田朋朗	
事業の概要	地方分権の進展により、国・道からの権限移譲の拡大、国の関与の縮減、財源の移譲、条例制定権の拡大など基礎自治体の裁量権の拡大が想定される中、法令等の的確な解釈・政策立案能力の向上のため、組織横断型のワーキングチームによる調査・研究等により円滑かつ計画的な行政を推進する方策として必要な事業である					全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
						国・道支出金	千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	千円
事業費計	千円						
実施方法	直営	民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武 ~ 協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	24	効果的・効率的な行政経営				
	単位施策	1	計画行政の推進				
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	千円	千円	千円	千円	千円	

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	地方分権による基礎自治体の裁量権拡大への対応、職員の政策立案能力の向上	ワーキングチームの設置数、調査・研究成果数			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	住民に身近で的確な政策展開による住民サービスの向上	ワーキングチームの設置数	目標年度	平成21年度	
			目標値	1	
			実績値	0	
			達成度	0.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	住民に身近で的確な政策展開による住民サービスの向上、住民の満足度の向上	報告書等成果数 / 癒しのエリア振興調査事業・日の出岬未開発区域整備調査事業	目標年度	平成22年度	
			目標値	2	
			実績値	0	
			達成度	0 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
ワーキングチームの設置	職員に構成メンバー示達を行ったものの、会議は未開催。事務局にてワーキングチームで検討すべき項目の論点整理を行った。(癒しのエリア振興調査事業・日の出岬未開発区域整備調査事業とリンク)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地方分権の進展により、国・道からの権限移譲の拡大、国の関与の縮減、財源の移譲、条例制定権の拡大など基礎自治体の裁量権の拡大が想定される中、組織横断型の職員による柔軟かつ斬新な政策立案が可能となり、職員の資質向上も期待でき必要な事業である
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	調査・検討対象事業に係る検討すべき項目の論点については事務局として概ね整理したものの、会議開催による調査・検討には至っておらず、課題ありと判断する
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	民間へのアウトソーシングによるものではなく、財源充当を伴わないため事業費の抑制が図られており、効率的である
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	基本的に町の施策は町民に恩恵を与えるものと判断し、調査・研究項目は多岐にわたることから、公平であると判断する
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
会議開催による調査・検討には至っていない	同左	

 今後の展開方向 (Action)		
継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
次年度において事業の進展・成果を発現させる	同左	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止		

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--